

平成20年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	精神障害者当事者による普及啓発のあり方に関する研究 —精神障害者は素晴らしいといわれる社会を目指して—
事業目的	本事業は小中学校の保護者、教員への啓発とともに当事者自身の啓発のあり方について検討した。当事者が行う啓発研修プログラムを開発し、実施した。前年度、聞き取り調査から作成した絵本を使って教師への研修を行い、学校教育現場への精神障害についての理解の普及啓発を目指した。
事業概要	本事業は一般市民への啓発とともに当事者自身の啓発のあり方について検討するため、①当事者による啓発研修プログラムの開発し小中学校の教師、学生、市民を対象に啓発プログラムを実施した。②生きづらさを抱えている市民（ホームレス、DV被害者など）に精神障害者が運営するサロンを提供し、またこれらの市民にWRAP（元気回復行動プラン）を実施した。精神障害者がエンパワーメントしたプログラムを提供し、社会貢献することにより精神障害者の社会的評価を高め、啓発を進めた。③平成21年度からは開発したプログラムを久留米市教育委員会の協力で久留米市内の小中高校で広く実施して普及啓発をはかる予定である。
事業実施結果及び効果	本事業の実施によって ①当事者による絵本を使った啓発プログラムが完成した。 ②21年度もこのプログラムによる研修の依頼がきており、教育、福祉関係への普及啓発が継続できる。 ③プログラムの中では当事者の体験が参加者の体験を話すきっかけとなり啓発の効果を上げた。 ③WRAP（元気回復行動プラン）が精神障害者だけでなく困難を抱えた市民にも有効であることが分かった。
事業主体	住 所：久留米市六ツ門町7-13 六ツ門ビル1階 久留米市市民活動サポートセンター内 特定非営利活動法人 くるめ出逢いの会 担当者氏名：磯田 重行 電話番号：090-1512-2589 E-メールアドレス：deainokai@yahoo.co.jp